

読書の秋がやって来ました。この秋はどんな本を楽しみたいですか？11月中旬から2週間、図書館は工事のため休館となります。10月中に是非図書館に足を運んで、たくさんの本に触れてみましょう。今月の図書館前廊下展示ケースの特集は「芥川賞・直木賞を読む」です。

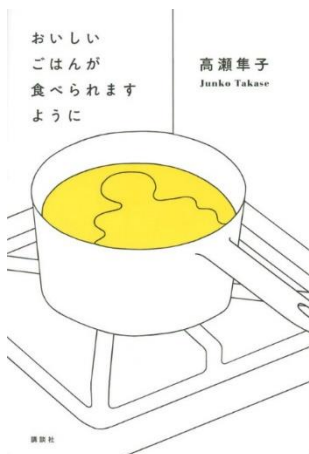
北豊島工業高校図書館 高木千里

特集展示 「芥川・直木賞を読む」



芥川賞・直木賞は1935年に創設され、以降年2回発表される文学賞です。芥川賞は、新人作家による芸術性を踏まえた一篇の短編あるいは中編作品に与えられ、直木賞は大衆性を押さえた長編小説作品あるいは短編集に与えられる文学賞です。今回展示を行う作品以外にも第153回(2015年上半期)芥川賞の又吉直樹「火花」、第156回(2016年下半期)直木賞の恩田陸『蜜蜂と遠雷』など高校生に人気の作品も数多くあります。今年2022年は、芥川龍之介生誕130周年にあたります。このことから9月10月展示企画は「芥川賞・直木賞を読む」です。

特集展示からのおすすめ本



「おいしいごはんが食べられますように」
高瀬隼子/講談社 913.6タ



「作家たちの17歳」
千葉俊二/岩波書店
910.2チ951



「夜に星を放つ」
窪美澄/文藝春秋
913.6ク

先生からのおすすめ本のコーナーです。

今月は総合技術科電気類型・青柳信広先生のおすすめ本を紹介します。

「100回泣くこと」

中村 航/著 小学館 913.6 ナ

バイクと犬。生と死。

「絶対に開かない箱を作ってほしい」と彼女は言った…。

二人の会話はユーモアがあり面白かった。

冒頭に描かれるバイク修理の過程や試作室での溶接作業の描写など、工業系だからこそリアルに感じられる部分が多くあり、ちょっと嬉しくなる作品。

悲しみは突然、理不尽にやってくるのに、日常は淡々と容赦なく進んでいく。

この感じが切なさを引き立てていたように感じました。

「we が you になっていく」というフレーズもなんか良い。

皆さんもきっと誰かを思い浮かべるんじゃないでしょうか。

「絶対に開かない箱」機械科の生徒なら作れると思いますよ。



【北豊島工業高校図書館からのお知らせ】

☆不明本を探しています。夏の蔵書点検の結果、行方不明となっている本が4冊ありました。貸出時にミスがあった可能性があるため、手元に下記の本がある人は図書館までお知らせください。

「現代がトヨタを越えるとき」筑摩書房

「はじめてのメルカリの使い方」秀和システム

「てんむす 3」秋田書店

「海外ドラマはたった350の単語でできている」西東社

☆10月からインターネットで北豊島工業高校図書館の「蔵書検索」が出来るようになります。いつでもどこからでも、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの端末で、簡単に蔵書検索が出来ます。

北豊島工業高校蔵書検索のURLは、

Lib-finder.net/kitatoshimakogyo/

です。

